こうだ邦子通信

行田 邦子

発行：行和会
〒367-0042 埼玉県本庄市けやき 1-26-18 STビル 2F
TEL.0495-37-3476/048-627-1867 FAX.048-627-1867

vol.124
隣々まで幸せに。
令和３年新緑号

ジェンダーギャップ、日本はなぜ１５６カ国中１２０位なのか？

世界経済フォーラム（WEF）が「ジェンダーギャップ指数 2021」を発表

先般、 東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗前会長（元総理大臣）による発言が世界中で大きな波紋を呼んだことは記憶に新しいかと思います。 国外からの強烈かつ素早い反応ぶりに対して、 なぜこれほどまでに批判されるのかと、 驚いた方もいたでしょうし、 また、 ジェンダー問題についての日本と諸外国との意識の違いを実感した方も多いかと思います。 今や日本では男女格差問題や女性の活躍について、 にわかに関心が高まっています。

このような中、 今年も世界経済フォーラム（WEF）による「ジェンダーギャップ指数」が発表されました。「ダボス会議」で知られる WEF が、 世界の国々で男女平等がどれほど実現しているかをまとめた報告書で、 今年で 15 回目となります。 3 月 31 日に発表された報告書では、 日本は 156 カ国中 120 位（昨年は 121 位）、 G7 では最下位という結果でした。

WEF の報告書では、 教育・健康・政治・経済の4分野に分けて指数化していますが、 日本はとりわけ政治分野で 147 位と大きくランクを下げています。 日本は、 女性の議員や閣僚の数が極めて少ない国であることが指摘されているのです。

ジェンダーギャップ指数 2021
－日本の分野別得点と順位－

政治	147 位（6.1 点）				
経済	117 位（60.4 点）	教育	92 位（98.3 点）	健康	65 位（97.3 点）
総合（65.6 点）	120 位／156 カ国				

出典：世界経済フォーラム（WEF）

事務局長として立法した「政治分野における男女共同参画推進法」

立法府として何かアクションを起こすべきではないか。 日本の議会で女性議員が極めて少ない状況について問題意識を共有する国会議員が超党派で集まり、「政治分野における女性の活躍と参画を推進する議員連盟」が立ち上がったのは 2015 年 2 月、 今から約 6 年前のことでした。

すべての政党から議員が参加する議員連盟では、 当時無所属だった私が事務局長を務めることとなりました。「議員は、 選挙で有権者が選ぶのだから、 女性議員も自然に増えるはず」というのが当初の私の認識でしたが、 諸外国の状況や取組みを調べてみて、 私自身の考えが変わりました。 実に多くの国において、 クオータ制を設けるなど、 政府や政党が意図的にルール改正を行うことによって女性議員を増やしていることがわかったからです。 何もしないで女性議員は増えないということなのです。

立法府として出来ること、 そして、 立法府しか出来ないことは、 法律を作ること。 こうして私が事務局長として立法に携わり、 2018 年 5 月に全会一致で成立した議員立法が「政治分野における男女共同参画推進法」です。

この法律は、 いわゆる理念法と呼ばれるもので、 罰則規定もなく、 関係者の自主努力を促す緩やかな法律ですが、 基本原則において公職選挙の候補者の数が男女できる限り均等となることが謳わ

裏面へ